

# 日野振興 センター だより

# hino

Hino Advancement Center Newsletter

平成 27 年 6 月発行 no. 9

## menu

- ・オオハンゴンソウの駆除にご協力ください
- ・地域のにぎわい創出の場に！ - 道の駅奥大山オープン -
- ・みんなで守る！日野川の源流と流域
- ・新嘗祭 今年の日野町から献上 / ・後継者とワンランク上の農業を目指せ！
- ・江府小学校“鳥取県美しいもりづくり功労者”受賞 / ・魚たちのためにスロープを設置
- ・所長新任所感 / ・鳥獣被害対策のポイント

“道の駅 奥大山” 6月28日  
グランドオープン!!





## オオハンゴンソウの特徴

日野郡内では、河原や休耕田に群生している光景が見られます。生命力が強く、湿った所や寒い所でも生育することができるため、一度入り込んでしまうと背丈が2mになることもあり、駆除が大変な植物です。

### 花

北米原産のキク科多年草の草本です。花期は7月～9月まで続き、直径が10cm前後の大きな黄色い花を咲かせます。



### 種

土の中で眠っていて、数年後に発芽してくる場合があります。

### 根

大変生命力が強い植物で、根の破片から再生することができます。一つの根っこがいくつかの破片に分かれた場合、破片の数だけ再生する恐れがあります。



## オオハンゴンソウの処理方法

- 1. 根から引き抜く**（根絶するために3年間以上は継続して行いましょう）  
引き抜く際はできるだけ根を残さないように、スコップ等で全体を掘上げましょう。
  - 2. 刈り取り**（分布範囲の拡大は防げますが、あくまで応急処置）  
種が出来てしまう前に、地上部の刈り取りを行きましょう。
  - 3. 除草剤**  
適切な薬量で周りの環境に考慮しながら使用しましょう。
- ※駆除したオオハンゴンソウは、枯死したことが確認できたら、可燃物として処分しましょう。



## オオハンゴンソウの 駆除にご協力ください

オオハンゴンソウは「特定外来生物」です

毎年7月から9月頃にかけて、河原や休耕田などで鮮やかな黄色の花を咲かせるオオハンゴンソウ。大きくて見事な花はきれいですが、「特定外来生物」に指定されているので、**自宅の庭や花壇に植えてはいけません。**

特定外来生物ってなに？

人間の手によって生息していなかった場所に持ち込まれ、そこに定着してしまった外国の動植物のことを「外来生物」といいます。

外来生物に罪はありませんが、場合によっては在来の生態系に悪影響を及ぼしたり、農林水産業などに被害を与えてしまうことがあります。

外来生物の中でも、特に影響が大きいと考えられる種を「特定外来生物」として指定し、法律によって被害拡大を防ぐ取組が行われており、オオキンケイギクやセアカコケグモ、ヌートリアなどが含まれます。

田んぼや畑などでオオハンゴンソウが生えているのを見かけた場合は、**左の処理方法によって駆除していただくようご協力お願いします。**



# みんなで守る！日野川の源流と流域

「日野川の源流と流域を守る会」では、子どもたちや流域に住む方々に、ふるさと日野川の源流と流域の自然環境、そしてこの自然と関わる生活文化を守り育てていくことの大切さを体験を通して理解していただきたいの思いから、日野川の源流と流域の森や水に親しみ学ぶ活動を展開しています。



## 日野川を親しむ活動を支援 助成情報

### 支援対象となる活動

・日野川及びその流域の森で行われる森や水に親しみ学ぶ活動やイベント。  
・親睦やレクリエーションだけではなく、森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが盛り込まれた活動。

### 支援対象団体

米子市、境港市、西伯郡又は日野郡に所在する小・中学校、PTA、会社、企業グループ、自治会、子ども会、公民館、ボランティアグループ、NPO団体など。

### 支援対象経費

借上料、資機材購入費、講師謝金・旅費など

### 支援額

1団体当たり上限7万円  
(会員は上限10万円)

### 申請方法

支援を希望する団体等は、事業実施の20日前までに実施要領に定める申請書に活動計画書を添えて提出。

## 守り！学び！親しむ！ イベント情報

- 7/5 (日) 8:00~**  
**1. 日野川一斉清掃、堰見学及び水質調査**  
 「日野川一斉清掃の日」に開催される日野川の清掃活動に参加し、清掃後、日野堰の見学及び日野川水質を調査します。  
 ・場所…日野川河川敷(米子市古豊千)
- 7/31 (金) 9:00~**  
**2. 日野川の自然環境と希少生物を守る体験活動**  
 午前はオオサンショウウオに関する講演会、午後からは日野川支流の河川調査学習、学習会、河川清掃及び自然観察会を行います。 ※午後からの自然観察会は小学生が対象  
 ・場所…日野町公民館(日野町黒坂)
- 8月中旬**  
**3. 海岸クリーン作戦及び海や魚の学習体験**  
 日吉津海岸で開催される「海岸クリーン作戦」に参加し、海や魚について学習します。  
 ・場所…日吉津村海岸(日吉津村日吉津)  
 ・対象…親子または子供(定員30名)
- 9/26 (土) 10:00~**  
**4. 日野川源流探訪**  
 日野川源流地域で自然解説を受けながら散策し、日野川の良さを体感、地域とふれあいます。  
 ・場所…日南町新屋ほか  
 ・定員…50名
- 10/18 (日) 10:00~**  
**5. 地域の自然を守る活動**  
 秋の大山山麓で地域の自然を阻害する外来植物の除去作業や自然観察会、地域とふれあいます。  
 ・場所…江府町鏡ヶ成  
 ・定員…50名
- 11/8 (日) 10:00~**  
**6. 水源かん養林での森林整備体験交流**  
 上流域の人達と下流域の人達が森林整備体験で交流し、自然の大切さを学びます。  
 ・場所…日南町印賀ほか  
 ・定員…50名

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

# 地域の賑わい創出の場に！ -道の駅奥大山オープン-

4月24日(金)、郡内で初となる「道の駅奥大山」が江府町佐川にプレオープンしました。

**順調な滑り出し**  
 オープン初日は午後からの一般営業にもかかわらず、約1000人の来場で賑わいました。GW期間も1日2000人の来場があり、順調に船出されました。

今後も、随時イベントが計画されていて、地域の賑わい創出や、域外・県外に向けて日野郡の情報を提供していただけるような活躍が期待されます。

**「みちくさ館」もリニューアル**  
 道の駅奥大山は、「物産館マルシェ」と「直売所みちくさ館」で構成されており、みちくさ館は、新鮮で安全な野菜をお客様に！をコンセプトに、平成15年から同地で運営されていた「特産物直売所みちくさ」がリニューアルされたものです。

「地産地消でお客様に健康を提供する」という経営理念の下、生産者が自ら店頭立ち、生産者とお客様との関係を大切にす

る直売所です。

みちくさ館のイチオシはなんと言っても「地元新鮮野菜」ですが、更なる直売所の魅力アップに向けて地元の農産物と母ちゃんの技を生かした加工品も提供されます。

みちくさ館は加工品充実のため改装工事され、6月28日(日)から本格稼働となり、これを経て道の駅奥大山もグランドオープンとなります。

**ここでしか買えないものは？**  
 道の駅奥大山でしか買えないものもあります。

一つは「道の駅奥大山きつぷ」。収集家が大量購入されることもあるそうです。

もう一つは「酒まんじゅう奥大山」。日野郡唯一の造り酒屋大岩酒造のお酒を使った甘みを抑えた一品です。

物産館マルシェでは、江府町以外の日野郡産品も購入できるの、お土産に最適です。

**道の駅「奥大山」**

〒689-4431 江府町佐川 908-3 ☎ 0859-75-3648  
 ホームページ <http://michinoeki.okudaisen.org/>

◎物産館マルシェ  
 ・休館日：年始、棚卸日(レストランは毎週水)  
 ・営業時間：8:00～20:00(冬季は～19:00)

◎直売所みちくさ館  
 ・休館日：4月～12月 休館なし  
 1月～3月 月・火・水  
 ・営業時間：4月～12月 9:00～17:00  
 1月～3月 9:00～15:00

◎情報コーナー 24時間利用可能(休館なし)

**まだまだ、品揃えを充実予定**

道の駅奥大山では、まだまだ日野郡産品等の品揃えを充実させていく予定です。特に野菜・山菜・川魚などを求めています。自分のところのものを扱って欲しいという方がおられましたら、是非道の駅奥大山までお問い合わせください。

また、地域活性化のために一緒に働いていただけるパートさんも現在募集中ですので、こちらもご関心のある方はお問い合わせください。

## 町内の加工組織が提供する みちくさ館 人気加工品 紹介

**桜小径 が作る もちもち餃子**

餃子の皮は自社生産の米粉に加えて、もち米粉も練り込んでいるのでモチモチした食感が特徴。野菜をたっぷり使用し、お年寄りから子供まで幅広いお客さんに人気の商品。

**みちくさ工房 が作る おやき**

米粉を練り込んだもちりした皮と甘さ控えめのこしあんが、シニア層に大人気でリピーター続出の商品。

**ほんぼこ菜 が作る 巻き寿司**

江府町産の美味しい米と地元母ちゃんの技を生かしたみちくさ館の一押し商品。バランスの良い酢飯と椎茸や干びょうの甘辛さが、シンプルだけどまた食べたくなる故郷の味。

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2080 FAX:0859-72-2072  
 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2025 FAX:0859-72-2090



## 江府小学校“鳥取県美しいもりづくり功労者”受賞

江府町立江府小学校（原田雅文校長）は、5月10日（日）に鳥取市福部町で開催された第60回鳥取県植樹祭において、ブナを育てる森林・林業教育活動の功績が評価され、「鳥取県美しいもりづくり功労者」の知事表彰を受けました。

江府小学校では平成21年度から、総合的学習の中でブナの森を再生する活動を行っています。毎年秋に江府町内のブナの森で種を採り、苗床

や苗ポッドに植えます。芽生えたブナは1年に10センチくらいしか大きくなりませんが、根気よく育て、4年くらい経った苗木を鏡ヶ成に植栽しています。

ブナは、江府町の木に指定されている郷土の樹種です。

児童の皆さんは、ブナを育みながら、郷土の自然を愛する気持ちも育んでいます。



知事から表彰を受ける児童の代表



トッキーノ＆らっちゃん記念撮影



「めぐみの森（鏡ヶ成）」で育つブナ

問 | 日野振興局 農林業振興課 電話 :0859-72-2020 FAX:0859-72-2125

## 魚たちのためにスロープを設置

「天然アユがのぼる100名川」にも選定され、特別天然記念物オオサンショウウオの生息地でもある日野川の堰堤に魚道を設置しました。（日南町宮内地内）

以前は、この堰堤にも魚道が設置してありましたが、大水により流失してしまい、アユやオオサンショウウオが遡上できなくなっていました。

今回設置した魚道は、この堰堤の落差が3m以上あることと、右岸側に岩場があることから、魚たちが遡上しやすいように円を描くような緩やかなスロープ状に仕



円を描くように上っていく魚道

上げています。

また、専門家にもご意見をいただき、魚道内に石を配置し、遡上しやすい水の流れになるよう工夫しました。

魚たちにこの魚道を使ってもらい、多くの生命が生まれ、育まれることを期待するとともに、日野川と私たちがいつまでも共存していけることを願っています。



石を配置することで上りやすく

問 | 日野県土整備局 計画調査室 電話 :0859-72-2059 FAX:0859-72-1398

## 新嘗祭 今年の日野町から献上

秋に宮中で執り行われる新嘗祭に、鳥取県代表として松本洋一さん（日野町）が奉仕者に決定され、5月19日（火）に日野町別所において、秋の豊作を祈願するとともに、田植式が執り行われました。

新嘗祭は、天皇陛下自らその年の豊かな収穫に感謝し、新穀を天地の神々に捧げられるとともに、農家の労をねぎらい、来たるべき年の豊作を祈願されるという意義深い行事です。

鳥取県では戦争で一時中断していましたが、昭和28年に再開し、以降、毎年実施されています。

平成になってから日野郡では元年に日南町、平成12年に江府町、平成22年に日南町から献納されており、日野町においては平成7年に粟（平成18年まで）を献納されて以来、20年ぶりの奉仕となります。

奉仕される松本洋一さんは元より、家族、集落

等関係者の方々は、無事秋に皇居に献上されるまで気の抜けない日々が続くこととなりますが、日野振興センターとしても支援していきたいと思っています。



日野町別所で神事と田植式が執り行われた

問 | 日野振興局 農業振興室 電話 :0859-72-2005 FAX:0859-72-2011

## 後継者とワンランク上の農業を目指せ！

- 日南町で家族経営協定を締結 -

家族経営協定とは、農業経営に携わる構成員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる農業経営を目指し、役割分担や就業条件など、働きやすい就業環境などについて、構成員の話し合いによって取り決めるものです。

この度、有限会社山本農場（日南町神福）が、後継者の就農を契機に、経営理念を盛り込んだ家族経営協定を締結されました。

山本農場は、稲作中心の大規模経営をされています。経営主の意向で一歩進んだ協定書にするため家族でワークショップを行い、従来の役割分担や就業条件に加えて、経営理念（経営ビジョン、経営方針、行動規範）を盛り込みました。

農業を取り巻く環境は厳しいですが、経営体が発展するには、経営理念や経営ビジョンを通して経営スタンスを明確化することが不可欠となります。また、それらは様々な戦略の前提となり、経

営や組織の軸になります。

山本農場の経営理念は、「おいしいお米をお客様に手軽に提供し、多くの方に感動を与えると共に、日南町の農地を守ります。」です。家族経営協定締結を契機に地域のモデルとなる経営体になることを期待します。

家族経営協定に関するご相談は、日野農業改良普及所までお問い合わせください。



山本農場の皆さん



家族でワークショップを実施

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話 :0859-72-2025 FAX:0859-72-2090



# 所長新任所感

## 日野の魅力で賑わいと笑顔を

この4月に所長に就任しました藤本と申します。

3回目の日野勤務ですが、何時も皆様方には温かく接して頂きありがとうございます。時を経て日野郡の皆様の暮らしは穏やかに営まれてきたという印象がありますが、今、人口減少や高齢化の波は全国的にも人々の暮らしを変えようとしています。

人口が減ることは地域の活力が奪われることです。産業が打撃を受け、次の時代を託すべき若者の雇用の場や子育て環境にも影響が出てきます。当地においても課題を克服するため、基幹産業である農林業の収益力向上に向

けた6次産業化やブランド化、子どもを安心して産み育てるための支援、農林業と空き家を組み合わせた移住定住の推進など、町を中心に関係者の方々が知恵を出し合い努力をされていますが、県も一層連携を強めていきたいと思っています。国も今年を「地方創生元年」と位置づけ、「まち・ひと・しごと」の創生に向けて、頑張る自治体への支援を打ち出しています。これから地域間の競争が始まります。従来の競争は、他の地域に比べてより便利で、より収益を上げられる事が競争の中心であったように思いますが、価値の多様化やライフスタイルが変化する中で、この地域に住みたい、住み続けたいと思えるような魅力を如何に創出し発信できるかが重要だと思っています。

日野郡の魅力は何だろうかと考えるとき、社会の発展の中でも失われなかった自然や美しい景観、豊かな森林や水資源、安全で新鮮な食べ物、穏やかで温かい人々との安心できる暮らしではないでしょうか。これまで重きを置かれなかった事を強みとし、地方回帰の気運も追い風に、賑わいと笑顔が少しでも増えていくように皆様方と一緒に頑張りたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

日野振興センター所長  
藤本 好正

## 鳥獣被害対策のPoint



イノシシ等の鳥獣被害が多く発生する時期になりました。

侵入防止柵はただ張ればよいというものではなく、効果が出る場所に設置し、効果の出るように張り、効果を持続させるように点検が重要です。

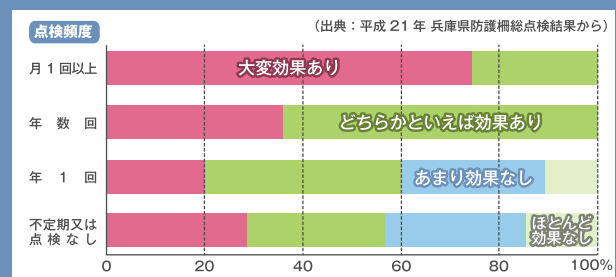
次の3つのポイントについて留意いただくとともに、定期的な点検に努めてください。

### 柵を有効に使うための基本3原則

- ①「潜り込める」、「跳び越せる」と思わせない  
加害動物の目線に立ち、電気柵の段数や設置場所の検討、設置高や忍び返して調整。
- ②農作物の味を覚えさせない  
「やられてから柵を張る」では遅い。一度味をしめると、執拗に侵入を試みるようになる。
- ③しびれない柵は設置しない  
電気柵は学習条件付による心理柵。「電気が流れない場合がある」という学習は効果を落とす。

### 柵の効果を持続させるために

保守点検の頻度が高いほど効果は高い!



※柵を張っているのに被害が起きたというような場合は、町農業担当課又は日野郡鳥獣被害対策協議会(電話:0859-72-1399)までご相談ください。

問 | 日野振興局 農業振興室 電話:0859-72-2005 FAX:0859-72-2011